

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## ② 施設・事業所情報

名称：アスク日吉東保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高木淳子	定員（利用人数）：80名（79名）
所在地：〒223-0061 横浜市港北区日吉7-20-44	
TEL：045-566-2226	ホームページ： <a href="https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/hiyoshihigashi/">https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/hiyoshihigashi/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2006年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社日本保育サービス	
職員数	常勤職員： 24名 非常勤職員 5名
専門職員	保育士 16名 栄養士 1名
	看護師 5名 調理員 4名
	子育て支援員 1名
施設・設備の概要	乳児室 3室 トイレ 4室
	幼児室 3室 事務室 1室
	沐浴室 1室 職員休憩室 2室
	調理室 1室
	鉄筋コンクリート造り3階建 延床面積 570.4㎡

## ③ 理念・基本方針

## 【保育理念】

「<sup>あす</sup>未来を生きる力を培う」

自分らしく、生きる道を歩み、どんな時代にも対応できる資質と能力を培います。

## 【保育方針】

一人ひとりに心をかけ、愛情を注ぎ、成長に合わせたきめ細やかな保育を行うことで、変化の激しいこれからの社会を生き抜くための、“生涯にわたる生きる力の基礎”を育みます。

- ・自ら伸びようとする力を支えます
- ・五感を養って感性を豊かにします
- ・後伸びする力を育みます

## 【園目標】

元気に楽しくのびのびと過ごす中で、

- ・明るく自信を持って、自己を表現できる子
- ・意欲的に挑戦し、やりとげようとする子
- ・仲間も自分も大切にできる、思いやりのある子 を育む

#### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

##### 【立地および施設の概要】

アスク日吉東保育園は、東急東横線日吉駅より徒歩15分の住宅街にあります。0歳児から5歳児までの79名（定員80名）が在籍しています。道路を挟んだ向かい側には東海道新幹線が走り、屋上園庭から間近に見えるので園児たちが歓声を上げています。近くに新たな小学校やマンション群があり、子育て世帯の多い住宅街の中にあります。2006年4月に開園し、園舎は鉄筋コンクリート造りの3階建てで、185㎡の園庭があり、3階の5歳児保育室から直接出られる屋上庭園を備えています。1階の園庭での砂遊びや公園や土手への散歩等、戸外活動を積極的に行い、晴れた日には屋上園庭で給食を楽しむこともあります。比較的近くに法人の系列園が2園あり、公園と一緒に遊んで交流をし、また、3園共同で土曜保育を行っています。

##### 【園の特徴】

法人の理念「未来（あす）を生きる力を培う」の下で、園目標「元気に楽しくのびのびと過ごす」保育を実践しています。また、医療的ケア児の受け入れを積極的に行い、子どもたちが様々な人と出会い、認め、多様な環境の中で共存することを念頭に、インクルーシブ保育を実践しています。1歳児より専門講師によるリトミック、体操、英語教室があり、年長児にはバイオリン教室があります。園児たちは、職員の見守る中で、主体的に自分の興味・関心のある遊びや活動に取り組んでいます。

#### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年8月1日（契約日）～ 2023年3月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	12回（2018年度）

#### ⑥ 総評

◇特長や今後期待される点

##### 1. 子どもが興味をもち主体的に活動することを大切にする保育

夏祭り等の行事の内容を決める際に、子どもたち自らの発想や興味を大事にしています。夏祭りのお店屋さんごっこでは、年長児の発想で時代背景を表す「宅配ごっこ」に決め、年下の子どもたちが宅配を注文してやり取りを楽しみました。生活発表会の劇「ももたろう」では、子どもの発想で金太郎、銀太郎、銅太郎が登場しました。玩具の取り合い等でけんかが起きたときは、職員は互いの気持ちに寄り添うように言葉がけし、子どもたち同士で解決するように促しています。

##### 2. 保護者への日常的な保育場面を視覚化した情報の提供

コロナ対応で保護者が保育室内に入れず、子どもたちの日常の姿や行事に関する情報を多くして欲しいとの意見があります。この対応として、連絡用アプリで、週の主な計画や園生活の状況、行事準備段階からの子どもたちの取組風景を配信し、また、園だより、クラスだよりを充実して保護者に情報提供をしています。これらの取組は、中長期計画、単年度事業計画のテーマとして取り上げ、保護者が参加する運営委員会でも取組状況を説明し、保護者と一緒に保育活動を作り上げています

##### 3. 全職員が意欲的に参加できる園内研修

昨年度は「保育のあたり前を見直しながら園の環境について考える」をテーマに、

グループワークで園内研修を行いました。園内研修では、コロナ禍を考慮して、職員が1箇所に集まらなくてよいように、園内のWebを利用して、職種を問わず全職員が無理なく参加できるようにしています。これらの取組が、職員にとって、お互いの学びと自らの保育の質向上に結び付き、モチベーションの向上につながっています。

#### 4. ボランティアの受け入れに関する園の基本姿勢の明文化

地域の学校教育や体験教室（小学生の職場見学、中学生の職場体験、高校生のインターンシップ等）への協力に関する園の基本姿勢を明文化することが期待されます。

#### 5. プライバシー保護マニュアルの作成の検討

園では、おむつ替えや着替え時には子どものプライバシーに配慮していますが、プライバシー保護に関するマニュアルを作成することが期待されます。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

職員一人ひとりが自己評価を行い、その後全職員で日々の保育の課題を話し合いました。その後は振り返りを行いながら、園全体の課題改善に取り組みました。全職員が同時期に「保育」を見直すことで運営方針や理念、今後園の目指していく方向性を再確認することが出来ました。このことで、職員の意識が高まり、保育の質の向上につながっていくと感じています。また今回の保護者アンケートで、高い評価をしていただいた部分は日々の努力を認めていただくことが出来たという喜びとともに、更なる努力をしていこうという、今後の励みにもなりました。アンケートを始めとした今回の評価の中において課題とされる部分については、これまでと違うアプローチも検討するなどし、課題解決に努めてまいります。これからも全職員で振り返りを行いながら、園業務・保育内容の充実を図っていくことが大切だと捉えています。

また、園での取り組み状況について、定期的に保護者の皆様に伝えていき、園と保護者の皆様が一体となりぬくもりある保育園づくりに向かえるよう、「また、明日も保育園で遊びたい」「アスク日吉東保育園で過ごすことができてよかった」と思っただけのように、職員一同これからも研鑽を重ねてまいります。

最後に、今回の第三者評価受審にあたって、ご多忙にも関わらずご利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力いただいた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。

### ⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり